

イギリス文学概観① 古英語文学からシェイクスピアまで

科目責任者 廣田美玲
学年・学期 1学年・1学期

I. 前文

本学のディプロマ・ポリシーには「医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる」とある。まず、世界文学に触れることで、国際教養を深めることができる。また、人が書いた作品と向き合い、対話をすることで、医師に求められる資質を高めることにも繋がるのではないだろうか。

II. 担当教員

廣田美玲

III. 一般学習目標

イギリス文学を概観し、代表的な作家の作品の抜粋を講読する。また、作品がベースとなった映像を鑑賞し、作品理解の一助とする。

IV. 学修の到達目標

1. イギリス文学に関する基礎的な知識（国際教養）を身に付ける。
2. 作品の解釈やその社会的背景、文化を理解する。
3. イギリス文学概観①では、古英語や中英語で書かれた作品やウィリアム・シェイクスピアの劇作を中心に扱う。

V. 授業計画及び方法 * ()内はアクティブラーニングの番号と種類

(1：反転授業の要素を含む授業（知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2：ディスカッション、ディベート 3：グループワーク 4：実習、フィールドワーク 5：プレゼンテーション

6：その他)

回数	月	日	曜日	時限	講義テーマ	担当者	アクティブラーニング
1	4	24	水	5	イントロダクション 古英語の文学（『ベオウルフ』）	廣田美玲	
2	5	1	水	5	中英語の文学『カンタベリー物語』	廣田美玲	1
3		8	水	5	ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』（1）	廣田美玲	1
4		15	水	5	ウィリアム・シェイクスピア『ロミオとジュリエット』（2）	廣田美玲	1
5		22	水	5	ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』（1）	廣田美玲	1
6		29	水	5	ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』（2）	廣田美玲	1
7	6	5	水	5	ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』（3）	廣田美玲	1

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

貢献度20%、レポート80%

VII. 教科書・参考図書・AV資料

プリントを配布します。

VIII. 質問への対応方法

随時受け付けます。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	○
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	○
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	○
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業時に行います。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊に記載。

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊に記載。